

中学部の「キャリア」について紹介します。

附属特別支援学校では、「キャリア」という授業があります。中学部での「キャリア」の学習内容は、「ワークキャリア」と「ライフキャリア」の大きく二つに分かれます。「ワークキャリア」は“働くこと”について学ぶ学習で、農作物、手工芸品などの生産・販売活動や職業・進路に関する学習を行っています。一方、「ライフキャリア」は“より豊かに生きること”について学ぶ学習で、余暇、家庭生活、社会生活の充実を図るために、クラブ活動、委員会活動、様々な方々との交流活動などの体験的学習を行っています。

今年度の「ワークキャリア」では「人との関わりや楽しさ」をキーワードに、中学部が一つの「チーム=会社」となって様々な仕事に挑戦してきました。多種多様な製品づくりを通して、友達と協力したり、自分が「どのようなものが好きなのか。」「何が得意なのか。」を考えたりしました。また、製品を作るだけでなく、「Action」という社名やお客さんに喜ばれる新商品の検討、販売会に向けてどのくらいの値段が妥当かなど、子供たちが話し合い、考えながら取り組んできました。下記では、「ワークキャリア」の学習の一環として行った、茨城大学での出張販売の様子を、写真でご紹介します。

茨城大学での出張販売

自分たちで製作した手作りコースター、ラベンダーのサシェ、陶の皿や箸置き等を販売しました。中でも、学校の畑で作ったさつまいもは人気の商品でした。たくさん買ってもらえるように、商品を紹介するミニのぼりやPOPも手作りしました。

